

インディアンフルートのお手入れ

インディアンフルートを購入する際にも説明を聞かれたと思いますが、お手入れ方法を簡単にまとめておきたいと思います。

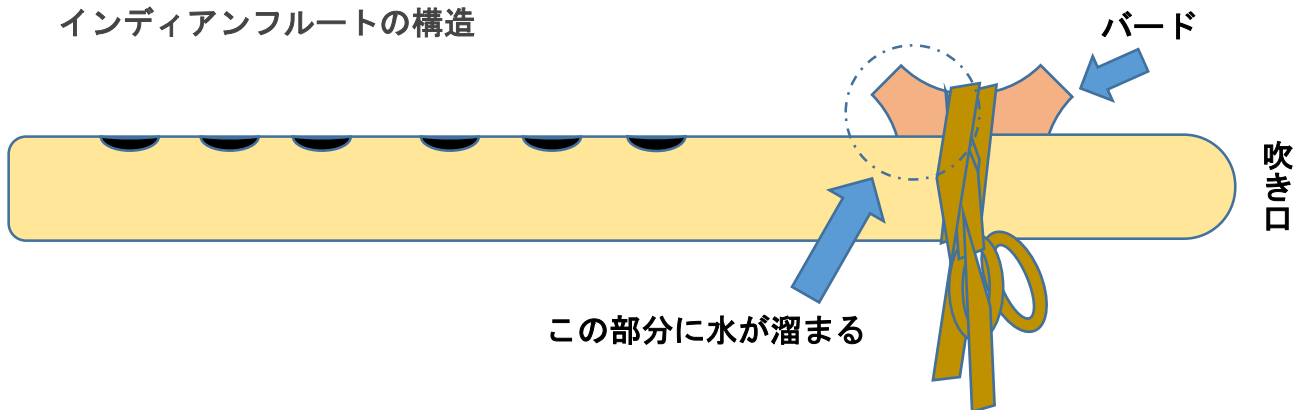
楽しくインディアンフルートを吹いている間に、音が出にくくなったり、全く出なくなったりした経験があると思います。

それは、息に含まれた水分が管の内部で結露し、その水が息の通り道を塞いでしまうからです。

特に、音を作り出す大切な部分によく水が溜まります。

そうすると、音がかすれたり高い音が出なくなったりするのです。

インディアンフルートの構造



インディアンフルートの構造は単純です。

バード（フェティッシュ）部分が皮ひもで結びつけられていると思いますが、管の中は、そのちょうど皮ひもの部分で仕切られています。

吹き口側と指側に分かれています。

そしてその両方に穴が開いていて、その穴同士がバードでつながっています。

バードの下を吹いた空気を通り、指側の穴で上と下に分かれることにより発声します。このように、バードは音を作り出す大切な箇所です。

そのバードの下側に水分が溜まりやすいのです。

演奏の途中で音が鳴りにくくなった時は、バードの空気の出口を指で塞ぎ、吹き口から強い息を吹き込んで水を飛ばします。

でも時々、バードを外して、本体を乾燥させてあげてください。

少し怖いかもしれませんが、思い切って皮ひもをほどいてみてください。

High Spirits 社製のフルートは、バードをゴムで留めてあります。

バードのついている場所をしっかりと覚えて、元に戻せるように気をつけて、ゴムも外しバードを取り外してください。

バードはとても重要な部品です。傷つけないよう気をつけてくださいね。

乾燥させる時は、直射日光に当ててはいけません。温度が急激に変化する場所も避けてください。

インディアンフルートは、木で出来た楽器です。

High Spirits 社製のフルートは、きちんと加工してありますので割れたり、水分で腐ったりする心配は無いですが、やはり気をつけましょう。

長期間湿った状態にしておいたり、直射日光に当てたりして油断すると、稀ですが壊れるかも知れません。

普段は、演奏した後水分をふき取っておく、やわらかい布でやさしく拭くなどのお手入れで十分です。

時々バードを外して、お手入れしてください。

皆さんの大切なインディアンフルートです。

日頃から気をつけて、いつでも、いつまでも楽しく演奏できるようにして下さいね。